

● 学力試験 数学 ●

1 《正解》

- (1) 5      (2)  $\frac{1}{3}$       (3)  $4\sqrt{3}$       (4)  $y = x^2 - 4x + 5$   
 (5) (2, -1)      (6)  $x^2 - 4x + 5 = 0$       (7) 6      (8)  $\frac{7}{2}$

《解き方》

- (1) (与式) =  $\frac{\sqrt{2}(\sqrt{3} + \sqrt{2}) + \sqrt{3}(\sqrt{3} - \sqrt{2})}{(\sqrt{3} - \sqrt{2})(\sqrt{3} + \sqrt{2})} = 5$   
 (2)  $x - 2 \geq 0$  と仮定して  $x - 2 = 5x$  を解くと  $x = -\frac{1}{2}$  となり、これは仮定をみたさない。  
 また  $x - 2 < 0$  と仮定して  $-(x - 2) = 5x$  を解くと  $x = \frac{1}{3}$  となり、これは仮定をみたす。  
 したがって解は  $x = \frac{1}{3}$   
 (3) 正弦定理より  $\frac{BC}{\sin 120^\circ} = 2 \cdot 4$  となるので、 $BC = 4\sqrt{3}$   
 (4) 平行移動して得られる放物線は  $y = (x - 1)^2 - 2(x - 1) + 2$  なので、これを展開して  
 $y = x^2 - 4x + 5$   
 (5) 平方完成により  $(x - 2)^2 + (y + 1)^2 = 9$  となるので、中心の座標は  $(x, y) = (2, -1)$   
 (6) 解と係数の関係より、 $a = -\{(2 + i) + (2 - i)\} = -4$ 、 $b = (2 + i)(2 - i) = 5$  となる。したがって  
 求める方程式は  $x^2 - 4x + 5 = 0$   
 (7) 底の変換公式より、(与式) =  $2 \log_2 3 \times \frac{\log_2 8}{\log_2 3} = 2 \times 3 = 6$   
 (8)  $\vec{a} = \overrightarrow{OA}$ 、 $\vec{b} = \overrightarrow{OB}$  とおくと、 $|\vec{a}||\vec{b}|\cos \angle AOB = \vec{a} \cdot \vec{b} = 1$  なので、求める面積は  
 $\frac{1}{2}|\vec{a}||\vec{b}|\sin \angle AOB = \frac{1}{2}\sqrt{|\vec{a}|^2|\vec{b}|^2(1 - \cos^2 \angle AOB)} = \frac{1}{2}\sqrt{5 \cdot 10 - 1} = \frac{7}{2}$

2 《解答例》

- (1)  $t = 2^x$  とおくと  $y = 2t - t^2 = -(t - 1)^2 + 1$  となる。 $t > 0$  の範囲で  $y$  の最大値は 1 で、  
 そのときの  $t$  の値は 1 である。したがって  $y$  の最大値は 1 でそのときの  $x$  の値は  $x = 0$   
 (2) 加法定理より左辺は  $\frac{\sqrt{3}}{2}\cos x - \frac{1}{2}\sin x$  となるので、等式を整理すると  $-\frac{\sqrt{3}}{2}\cos x = \frac{1}{2}\sin x$   
 となる。したがって  $\tan x = \frac{\sin x}{\cos x} = -\sqrt{3}$   
 (3)  $\overline{A} = \{x | x \geq -1\}$  なので、 $\overline{A} \cap B = \{x | -1 \leq x \leq 2\}$

3 《解答例》

- (1) 下から50番目と51番目の点数はいずれも6点であるので、点数の中央値はこれらの平均として6
- (2) 点数の平均値は  $\bar{x} = \frac{1}{100}(4 \cdot 9 + 5 \cdot 23 + \dots + 8 \cdot 10) = 6$
- (3) 点数の分散は  $s_x^2 = \frac{1}{100}\{(4-6)^2 \cdot 9 + (5-6)^2 \cdot 23 + \dots + (8-6)^2 \cdot 10\} = 1.2$

4 《解答例》

- (1)  $\triangle AGE : \triangle DGE = AH : HD = 2 : 1$  より、面積は2倍
- (2)  $\triangle AED$  において、チェバの定理より  $\frac{AB}{BE} \cdot \frac{EC}{CD} \cdot \frac{DH}{HA} = 1$  で、左辺は条件より  $\frac{2}{3} \cdot \frac{EC}{CD} \cdot \frac{1}{2}$  となる。  
したがって  $\frac{EC}{CD} = 3$ 、すなわち  $EC : CD = 3 : 1$
- (3)  $\triangle AED$  において、メネラウスの定理より  $\frac{EB}{BA} \cdot \frac{AF}{FD} \cdot \frac{DC}{CA} = 1$  で、条件と(2)より左辺は  $\frac{3}{2} \cdot \frac{AF}{FD} \cdot \frac{1}{3}$  となる。したがって  $\frac{AF}{FD} = 2$ 、すなわち  $FD : FA = 1 : 2$

5 《解答例》

- (1)  $f(x) = x^2 - 2ax$  とおくと、 $f'(x) = 2x - 2a$  より  $f'(2a) = 2a$  なる。よって、放物線  $y = f(x)$  上の点  $(2a, 0)$  における接線の方程式は  $y = 2a(x - 2a) + 0 = 2ax - 4a^2$
- (2) 放物線と  $x$  軸の交点の  $x$  座標は、方程式  $x^2 - 2ax = 0$  を解いて  $x = 0, 2a$  となる。求める面積は

$$S_1 = \int_0^{2a} \{-(x^2 - 2ax)\} dx$$

$$= \left[ -\frac{1}{3}x^3 + ax^2 \right]_0^{2a} = \frac{4}{3}a^3$$

- (3) 三角形の面積は  $S_2 = \frac{1}{2} \cdot 2a \cdot (4a^2) = 4a^3$  である。

よって、 $S_1 : S_2 = \frac{4}{3}a^3 : 4a^3 = 1 : 3$

